



2020年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月8日

上場会社名 いであ株式会社

上場取引所 東

コード番号 9768 URL <https://ideacon.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 田畑 日出男

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長管理本部長 (氏名) 市川 光昭 TEL 03-4544-7600

四半期報告書提出予定日 2020年5月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	5,663	9.6	1,057	20.9	946	29.5	699	25.8
2019年12月期第1四半期	6,264	34.9	1,337	139.1	1,342	128.6	943	134.3

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 504百万円 (44.4%) 2019年12月期第1四半期 906百万円 (133.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	97.97	
2019年12月期第1四半期	132.08	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第1四半期	29,373	17,551	59.7	2,458.11
2019年12月期	26,127	17,261	66.1	2,417.55

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 17,549百万円 2019年12月期 17,260百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		30.00	30.00
2020年12月期					
2020年12月期(予想)		0.00		30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,000	6.6	2,900	2.1	2,950	2.0	2,050	4.4	287.13
通期	20,000	1.9	2,050	6.1	2,100	3.1	1,470	2.1	205.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期1Q	7,499,025 株	2019年12月期	7,499,025 株
期末自己株式数	2020年12月期1Q	359,440 株	2019年12月期	359,402 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期1Q	7,139,604 株	2019年12月期1Q	7,139,755 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策・金融政策等の効果を背景として雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復が続いておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響により急速に悪化し、景気の先行きに対する不透明感が払拭できない状況となりました。

当社グループを取り巻く市場環境は、令和元年度の政府補正予算において、自然災害からの復旧・復興、防災・減災対策、国土強靱化の強力な推進、東日本大震災からの復興・創生、気候変動対策、生物多様性の保全と持続可能な利用などの当社グループの強みを活かせる分野に重点配分されており、比較的堅調に推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、安全・安心で持続可能な社会の実現、CSRのさらなる推進、コンサルタントとしての技術力の総合化・多様化・高度化、さらには企業価値の向上を目標に事業を推進してまいりました。

また、当社グループは、2019年から2021年までの第4次中期経営計画において、「イノベーションとマーケティングによる市場創生・新規事業の展開と海外事業の拡大」をスローガンに掲げ、①新規事業の創出・新市場の開拓と技術開発の推進、②イノベーションやマネジメントを担える人材の確保・育成、③基幹事業分野の強化、④海外事業の拡大と海外展開の推進、⑤民間・個人市場への展開、ものづくりの推進、⑥IoT・ロボット・AI等先端技術の利活用、⑦働き方改革の推進、⑧組織の一体化・効率化とガバナンス体制の強化、の8つの重要な経営課題に取り組むことにより、強い経営基盤の構築と安定的な成長を目指してまいりました。

当第1四半期連結累計期間における連結業績については、受注高は化学物質の環境リスク評価に係る大型業務や放射能除染関連業務、平成30年7月豪雨対応を含む防災・減災関連業務が減少したこと等により、前年同四半期比11億2千6百万円減少の43億7千万円（前年同四半期比20.5%減）となりましたが、受注残高は期首繰越受注残高が増加したこと等により、同10億6千3百万円増加の182億5千1百万円（同6.2%増）となりました。売上高は新型コロナウイルス感染拡大防止への対応に伴う実施中業務の一時中止や工期延長等によって、当第1四半期連結累計期間に売上計上を見込んでいた一部業務の完成時期が先送りされたこと等により、同6億1百万円減少の56億6千3百万円（同9.6%減）となりました。

売上高の減少等により、営業利益は前年同四半期比2億7千9百万円減少の10億5千7百万円（前年同四半期比20.9%減）、経常利益は同3億9千6百万円減少の9億4千6百万円（同29.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は同2億4千3百万円減少の6億9千9百万円（同25.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメント間取引を含んでおります。）

（環境コンサルタント事業）

同事業は、当社及び連結子会社4社（新日本環境調査㈱、沖縄環境調査㈱、東和環境科学㈱、以天安（北京）科技有限公司）が行っている事業であり、環境アセスメント及び環境計画部門、環境生物部門、数値解析部門、調査部門、環境化学部門、気象・沿岸部門の6部門より構成されております。

化学物質の環境リスク評価に係る大型業務や放射能除染関連業務の売上が減少したこと等により、売上高は前年同四半期比1億5百万円減少の47億9千1百万円（前年同四半期比2.2%減）となり、売上高の減少及び現地調査など原価率の高い業務の占める割合が増加した結果、セグメント利益は同1億4千5百万円減少の8億9千4百万円（同14.0%減）となりました。

（建設コンサルタント事業）

同事業は、当社が行っている事業であり、河川部門、水工部門、道路部門、橋梁部門、海外部門の5部門より構成されております。

インフラ施設の維持管理関連業務等の完成時期が一部先送りされたことや平成30年7月豪雨対応を含む防災・減災関連業務の売上が減少したこと等により、売上高は前年同四半期比3億5千1百万円減少の7億6千3百万円（前年同四半期比31.5%減）となり、売上高の減少により、セグメント利益は同7千

6百万円減少の1億2千5百万円(同37.9%減)となりました。

(情報システム事業)

同事業は、当社が行っている事業であり、システム開発及び画像解析等の事業を行っております。

システム開発に関する業務や同事業部門が担当する放射能除染関連業務が減少したこと等により、売上高は前年同四半期比1億3千8百万円減少の6千3百万円(前年同四半期比68.6%減)、売上高の減少により、セグメント損失は5百万円(前年同四半期セグメント利益5千2百万円)となりました。

(不動産事業)

同事業は、当社が行っている事業であり、赤坂のオフィスビル、旧本社ビル等の不動産賃貸事業を行っております。

売上高は前年同四半期比0百万円増加の6千9百万円(前年同四半期比0.8%増)、セグメント利益は同0百万円増加の4千2百万円(同0.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末と比べ32億4千6百万円増加の293億7千3百万円(前年同四半期比6.4%増)となりました。

流動資産につきましては、主に売上債権の回収及び前受金の増加により現金及び預金が8億7千2百万円、第1四半期末に完工業務が多い事から受取手形及び営業未収入金が19億1千4百万円、第2四半期に完工業務が集中することから仕掛品が7億8千8百万円それぞれ増加したことにより、前連結会計年度末に比べ35億3千7百万円増加の134億7百万円(前年同四半期比12.3%増)となりました。

固定資産につきましては、主に建物の増加7千7百万円、有形固定資産その他の減少1億2千2百万円、投資有価証券の減少3億7千4百万円、繰延税金資産の増加1億2千3百万円により、前連結会計年度末に比べ2億9千1百万円減少の159億6千5百万円(前年同四半期比1.9%増)となりました。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比べ29億5千6百万円増加の118億2千1百万円(前年同四半期比7.4%増)となりました。

流動負債につきましては、主に第1四半期末の完工業務及び第2四半期に集中する完工業務に関する売上原価の支払が増加することから支払手形及び営業未払金が8億9千9百万円、運転資金の調達により短期借入金が12億円、賞与引当金が2億7千6百万円それぞれ増加したことにより、前連結会計年度末に比べ30億4千6百万円増加の78億2千6百万円(前年同四半期比15.2%増)となりました。

固定負債につきましては、主に償還により社債が2千5百万円減少、退職給付に係る負債が3千1百万円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ9千万円減少の39億9千5百万円(前年同四半期比5.1%減)となりました。

(純資産)

純資産につきましては、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が4億8千4百万円増加したことにより、前連結会計年度末に比べ2億8千9百万円増加の175億5千1百万円(前年同四半期比5.7%増)となりました。

企業の安定性を示す自己資本比率は、当四半期連結会計期間末は、前連結会計年度末に比べ6.4ポイント低下の59.7%(前年同四半期は60.1%)となり、また、支払能力を示す流動比率は、前連結会計年度末に比べ35.2ポイント低下の171.3%(前年同四半期は175.7%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止への対応に伴う実施中業務の一時中止や工期延長等によって、当第1四半期連結累計期間に売上計上を見込んでいた一部業務の完成時期が先送りされたものの、前回の業績予想(2020年2月3日発表「2019年12月期決算短信」)から変更はありません。

なお、第1四半期連結累計期間において、売上高は56億6千3百万円(前年同四半期比9.6%減)となり、通期予想売上高200億円の28.3%を計上いたしました。また、例年、当社グループの売上高は上半期に集中する季節変動特性を有しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,162,542	2,035,359
受取手形及び営業未収入金	2,216,143	4,131,078
有価証券	248	431
仕掛品	6,369,423	7,157,741
貯蔵品	41,105	33,831
その他	91,177	62,289
貸倒引当金	△10,032	△12,820
流動資産合計	9,870,609	13,407,910
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,082,345	4,160,299
土地	7,777,542	7,777,542
その他（純額）	1,332,460	1,210,270
有形固定資産合計	13,192,348	13,148,111
無形固定資産	81,268	76,344
投資その他の資産		
投資有価証券	2,048,457	1,673,802
繰延税金資産	24,066	147,724
その他	968,943	977,552
貸倒引当金	△58,636	△58,336
投資その他の資産合計	2,982,831	2,740,743
固定資産合計	16,256,448	15,965,199
資産合計	26,127,057	29,373,109
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	850,520	1,749,597
短期借入金	1,000,000	2,200,000
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
未払法人税等	465,117	425,240
賞与引当金	92,773	369,178
受注損失引当金	17,005	1,870
その他	2,303,898	3,030,197
流動負債合計	4,779,315	7,826,084
固定負債		
社債	1,025,000	1,000,000
繰延税金負債	28,978	24,046
役員退職慰労引当金	319,014	312,424
退職給付に係る負債	2,523,668	2,492,237
その他	189,299	167,171
固定負債合計	4,085,961	3,995,879
負債合計	8,865,276	11,821,963

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,173,236	3,173,236
資本剰余金	3,352,573	3,352,573
利益剰余金	10,433,819	10,918,552
自己株式	△139,672	△139,781
株主資本合計	16,819,957	17,304,581
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	444,852	255,949
為替換算調整勘定	△2,917	△9,289
退職給付に係る調整累計額	△1,523	△1,382
その他の包括利益累計額合計	440,411	245,277
非支配株主持分	1,412	1,287
純資産合計	17,261,781	17,551,145
負債純資産合計	26,127,057	29,373,109

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	6,264,991	5,663,166
売上原価	4,001,177	3,657,157
売上総利益	2,263,814	2,006,009
販売費及び一般管理費	926,318	948,363
営業利益	1,337,495	1,057,645
営業外収益		
受取利息	318	299
受取配当金	3,003	4,221
受取保険金及び配当金	720	948
保険事務手数料	1,041	986
投資事業組合運用益	6,204	—
その他	3,005	3,841
営業外収益合計	14,292	10,296
営業外費用		
支払利息	1,835	2,395
持分法による投資損失	5,509	15,225
投資事業組合運用損	—	101,925
為替差損	644	—
その他	991	1,680
営業外費用合計	8,981	121,227
経常利益	1,342,807	946,714
特別利益		
固定資産売却益	—	67,704
特別利益合計	—	67,704
税金等調整前四半期純利益	1,342,807	1,014,419
法人税、住民税及び事業税	490,216	380,170
法人税等調整額	△90,390	△65,099
法人税等合計	399,826	315,070
四半期純利益	942,981	699,348
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△37	△87
親会社株主に帰属する四半期純利益	943,019	699,435

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
四半期純利益	942,981	699,348
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,477	△188,902
為替換算調整勘定	1,948	△1,869
退職給付に係る調整額	△49,288	140
持分法適用会社に対する持分相当額	1,360	△4,540
その他の包括利益合計	△36,501	△195,171
四半期包括利益	906,479	504,176
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	906,498	504,301
非支配株主に係る四半期包括利益	△18	△124

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境コン サルタン ト事業	建設コン サルタン ト事業	情報システ ム事業	不動産 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,894,898	1,114,847	201,579	53,666	6,264,991	—	6,264,991
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,099	—	—	14,835	16,934	△16,934	—
計	4,896,998	1,114,847	201,579	68,501	6,281,926	△16,934	6,264,991
セグメント利益	1,040,055	202,490	52,945	42,004	1,337,495	—	1,337,495

(注)1セグメント間取引消去によるものであります。

2セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境コン サルタン ト事業	建設コン サルタン ト事業	情報システ ム事業	不動産 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,782,521	763,505	63,302	53,837	5,663,166	—	5,663,166
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,068	—	—	15,193	24,261	△24,261	—
計	4,791,589	763,505	63,302	69,030	5,687,427	△24,261	5,663,166
セグメント利益又は損失(△)	894,912	125,716	△5,376	42,392	1,057,645	—	1,057,645

(注)1セグメント間取引消去によるものであります。

2セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。